

2007 年度

<p>科目名</p> <p style="text-align: center;">ピアノ A</p>	<p>対象学科・学年 教育教福1 回生</p>	<p>担当者</p> <p style="text-align: center;">植條 勝子</p>
<p>授業テーマ ピアノ実技</p>		
<p>授業の概要と目標</p> <p>幼児の音楽指導はその発達過程に重要な影響を与え、指導の基礎としてピアノを弾くことは不可欠である。ML システムによる個人指導とアンサンブルとを併行して授業を進める。初心者は初歩的な読譜、運指、視奏などから始め、音楽体験者は現段階からさらに上のランクを目指す。アンサンブルは公開レッスンとし、人前で演奏することに慣れることと、人の演奏を参考に良い表現を取り入れて個性的な演奏に結びつくよう工夫をする。</p>		
<p>評価方法</p> <p>課題曲（教則本・マーチ）とアンサンブルの実技試験により評価する 毎回のレッスン時の態度や出席も参考にする</p>		
<p>テキスト</p> <p>教則本（バイエル教則本・ブルグミュラー25の練習曲など） マーチ、アンサンブル曲は楽譜を配布する</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>参考書</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>授業スケジュール・内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 初心者のために ML システムとは 音楽体験調査 基礎的理論 奏法の説明 アンサンブルの楽しみ方（グループで、ディスクを使用して） 2. レベルの確認 教則本の決定 グループ編成 個人レッスン（全員）により、レベルI～レベルIVを確認する 使用する教則本を各自に指示する アンサンブルのグループ編成をする 2. 個人・アンサンブルレッスンを併行する 4. 5. 6. 7. 8. ↓ 9. 試験課題曲（教則本・マーチ）を提示する 10. 課題曲の個人レッスン、自由曲によるアンサンブルレッスンを併行する 11. 12. 13. ↓ 14. 全グループのアンサンブル実技試験 15. 課題曲（教則本・マーチ）実技試験 		